

平成29年度京都府原子力総合防災訓練等の実施状況について

I 京都府原子力総合防災訓練

- (1) 日時等 平成29年11月12日（日） 安定ヨウ素剤配布（綾部市、宮津市、京丹波町）
避難退域時検査（綾部市中央公民館）
へり、船舶避難（宮津市）
- (2) 参加者 関係機関 42機関約400人 参加住民 約3,300人 計 3,700人
- (3) 主な訓練
- ・ 孤立地域等の緊急時における悪天候等を想定した複数の避難方法、経路の設定
（宮津市養老地区住民の船舶避難、宮津市由良地区社会福祉施設からのへり避難）
 - ・ 住民避難一時集結場所の受入体制の再検証
（避難者受付、安定ヨウ素剤配布等の効率化）
 - ・ 避難退域時検査会場における避難者受入体制の検証・通過証発行体制の構築
（会場統制部門の設置、人員体制見直しによる車両渋滞対策、個人検査混雑時の検査レーンの増加、車両除染プールの導入、検査証明「通過証」の統一化など）
 - ・ 放射線防護対策設備の稼働手順の確認 など

II 避難先との広域調整会議

- (1) 府内避難先会議 平成30年1月25日（木） 府内避難先市町との意見交換
- (2) 府外避難先会議 平成30年1月31日（水） 兵庫県避難先市町との意見交換
3月13日（火） 徳島県避難先市町との意見交換

III 平成30年度訓練等における追加項目

(1) 住民の屋内退避、避難方法、安定ヨウ素剤服用効果等の周知徹底

- 避難ガイド（手引）の作成・配布
- ・ 原子力災害時の避難等の考え方
 - ・ 屋内退避の重要性とポイント
 - ・ 安定ヨウ素剤の服用効果
 - ・ 避難退域時検査（検査と通過証）等

(2) 避難車両の運行管理

- 検査会場への避難車両の運行状況把握、到着予測による事前渋滞対策

(3) 検査会場間の調整

- 特定の検査会場に避難車両が集中することを想定した他検査会場への車両誘導

(4) 通過証発行事務の改善

- 住民に記入をお願いする
- ① 関係市町様式（一時集結場所受付簿・安定ヨウ素剤問診票）
 - ② 府様式（検査場所での通過証明書）
 - ③ 避難先市町様式（避難者名簿）
- の一体化

(5) 個人の汚染有無検査・汚染

- 手荷物検査のスペース確保等

(6) 広域避難先との受入時の手順確認等

- 広域避難先での受入訓練 広域避難先市町等への連絡員の事前派遣